

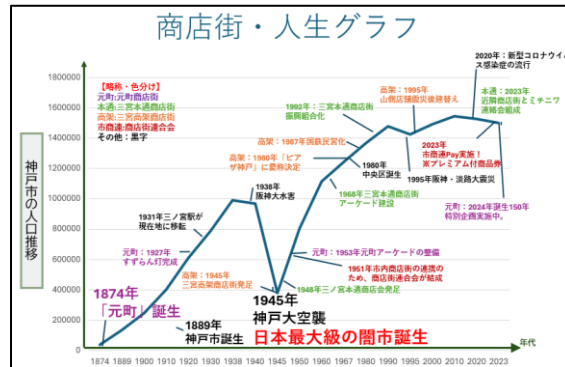
ありがとう神戸プロジェクト実行委員会(仮)(兵庫県神戸市中央区)

商店街の概要

- 元町・三宮エリアの複数商店街(元町商店街・三宮本通商店街・三宮高架商店街)と神戸市商店街連合会・川崎重工の有志と神戸市で、エリア連携に向けた検討チームを結成。
- 神戸市を代表する商業エリアで、チェーン店の進出が進む半面、個性的な店舗が減少しつつある。
- 2025年に阪神・淡路大震災から30年を迎え、元町・三宮エリアの商店街が連携した新しい取り組みを検討したい。

(1)商店街の歩み

- 明治維新の神戸開港により人口が増加し、元町商店街が誕生。
- 人口増加を続けていたが、第二次世界大戦により焼け野原となる。そこに日本最大級の闇市ができ、**現在、50以上の商店街等がある。**
- しかし、人口減少や通販の普及、他都市の再開発等の理由により、来街者や売上が減少、資金難などから空き店舗が増加する「負のスパイラル」に陥る商店街も存在する。



(2)商店街の強み・弱みの把握

- 中央区の昼夜間人口比率は200%以上**で、市内の消費地である。
- 神戸市の人口は減少しているが、**中央区は増加傾向**。
- 近年は後継者問題や来街者や売上の減少により、空き店舗が増加。
- 長い歴史の中で育まれてきた**個性的な商店街や個店、店主がまだまだ残っている**。

【客観的データ】(2024年11月神戸市調査)

神戸市人口:約149万人 神戸市中央区人口:約15万人

ブランディングのための着眼点

- 実際に商店街を歩くと、**面白い店主や商品・エピソードが多数ある**
- 元町・三宮エリア全体で魅力の向上を検討**すれば、回遊性も高まる

5年後のめざす姿と具体的な取組

コウバカードでエリアの魅力をアップ

- 商店街の**個性的な店主のトレーディングカードを発行**
 - 店主と新規顧客をつなぐツールとして、入店のきっかけをつくる
 - キャンペーンやイベントでしか手に入らないレアカードも発行
 - 各団体がルーツを知ること、団体間連携に向けた基盤とする
- 歩いて楽しい・見つけて楽しい**神戸のオープンステージ**へ
 - カード化した店舗をめぐる商店街横断ツアーで、エリア全体の回遊性を向上し、まち歩き楽しさを提供
- 巡りきれないストーリー**
 - 商品だけでなく、個性的な店主のディープな面白さを紹介する

5カ年で **エリア連携×まちの魅力の再創造** を達成

